

# 令和 8 年度 中高年世代活躍応援プロジェクト【委託事業】について

令和 8 年度中高年世代活躍応援プロジェクトに係る委託事業のメニューは以下のとおりとする。

## 事業目的

就職氷河期世代を含む中高年世代の安定就労の実現を支援することを目的とする

## 事業概要（R7.12.26閣議決定された予算案はP.4のとおり）

【本 省】周知広報事業：民間企業に委託しポータルサイト運営、SNS広告、ポスター・リーフによる周知等の実施

【労働局】支援事業：民間企業に委託し以下のメニューの中から 1 つ以上を選択の上実施

- I 企業説明会や就職面接会の開催等、地域の実情に応じた中高年世代の雇用支援等
- II 能力開発施設、各種支援機関、中高年世代積極採用企業等への見学ツアー等
- III 求職者に対する個別定着支援、企業等に対する雇用管理や定着支援セミナー等
- IV 在職中の非正規雇用労働者でも受講しやすい職業訓練に係るメニューの紹介や見学会の実施、学び直しに関するワークショップの開催等
- V オンラインサロン等の仕組みを活用した当事者同士の交流の場、成功経験を共有できる機会の提供や、グループでのカウンセリング・共同作業を通じた基礎的能力等の向上支援等
- VI 中高年世代支援に係る各種事業の周知及び気運の醸成に係る広報
- VII その他、地域の実情に応じた中高年世代の雇用に資する事業

# 令和8年度 中高年世代活躍応援プロジェクト【委託事業】について

## 委託事業実施スケジュール

- ①支援事業メニューの決定（協議会構成員の了解）
- ②調達：一般競争入札（総合評価落札方式）による委託業者の決定
- ③事業開始（R8.4.1付け委託契約予定）

## 選択する支援事業メニュー及びその概要について

### I 企業説明会や就職面接会の開催等、地域の実情に応じた中高年世代の雇用支援等

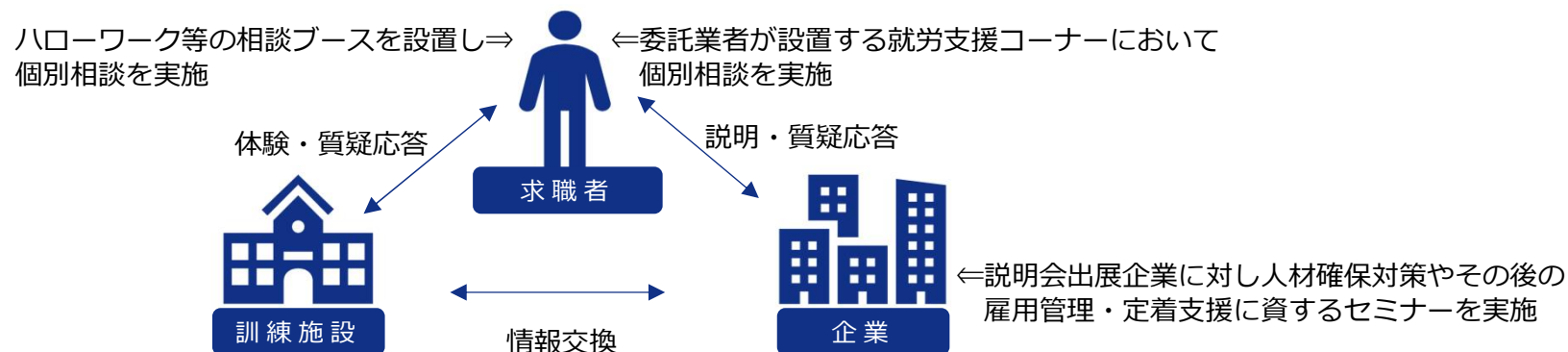
【概要】県内の複数会場において企業説明会を実施

- \* 各会場においては職業訓練体験会の並行実施を検討
- \* 各会場に就労支援コーナー（求職者向け個別相談）を設置
- \* ハローワーク等の相談ブースを設置《委託外》

### III 求職者に対する個別定着支援、企業等に対する雇用管理や定着支援セミナー等

【概要】県内の複数会場において企業向け雇用管理セミナーを実施

- \* 企業説明会出展企業に対する人材確保対策・雇用管理・定着支援を主題としたセミナー



# 令和 8 年度 中高年世代活躍応援プロジェクト【委託事業】について

## 支援事業メニュー選択理由

＊企業説明会と職業訓練体験をセットにした事業は令和 6 年度から実施しているが、参加者の満足度が高く、更に今年度の参加者数が 6 年度を上回っていること。加えて、アンケート結果では継続した開催を望む声が多かったこと。

＊説明会に出展した企業の満足度についても 6 年度を上回っていること。

＊企業向けの雇用管理セミナーについては今年度初めて実施したが、参加した企業の満足度が高く、アンケート結果では現在雇用している中高年世代の定着や新たに中高年世代を採用するに当たってのヒントとなった等、評価する声が多かったこと。



### 参加者満足度

6 年度 93.6%、7 年度 93.5%

※参加数（県北・県央） 6 年度 58 人、7 年度 82 人



### 企業満足度

6 年度 72.9%、7 年度 83.3%

※セミナー満足度（県北・県央）は 100%

※参加数（県北・県央） 6 年度 31 企業、7 年度 30 企業



### 訓練施設満足度

6 年度、7 年度ともに 100%

※参加数（県北・県央） 6 年度 11 施設、7 年度 10 施設

※満足度：「大変役に立った」と「まあまあ役に立った」の合計

## 事業実施に係る改善取組事項

＊会場のキャパシティの問題はあるが、可能な限り参加企業数のアップに取り組む（参加者からもっと多くの参加企業を望む声あり）。

＊参加者のみならず企業の満足度向上のため、更なる集客数アップに取り組む（特に県北会場において企業から参加者が少なかったという意見あり）。

＊参加者の中に企業ブースを訪問しなかったケースが見られたため未訪問を無くすよう工夫する（県央会場は未訪問者なし）。

＊企業によっては訪問者が多くなり、待ち時間が生じたブースがあったため対策を検討する。

＊職業訓練体験の内容あるいは企業説明会との会場（レイアウト）について工夫する（企業から一部訓練体験の「音」がうるさかったとの意見あり）。

＊企業向けの雇用管理セミナーについては、定着支援推進のためバーンアウト（過度なストレスで心身のエネルギーが枯渇し仕事や生活への意欲を失う状態）対策を新たに追加することを検討する。

# 中高年世代活躍応援プロジェクト

人材開発統括官若年者・キャリア形成支援担当参事官室（内線5695）

労働特区			子育て特区	一般会計
労災	雇用	徴収	育休	
	○			

令和8年度当初予算案 5.6億円（5.6億円）※（）内は前年度当初予算額

## 1 事業の目的

- 就職氷河期世代を含む中高年世代の中には、非正規雇用の期間が長く能力開発の機会に恵まれなかった等の理由により、処遇面でも厳しい状況に置かれている方々や、就労・正社員化に向けた具体的な行動を起こせず諦めている方々が一定数存在する。
- このため、本プロジェクトにより、地方自治体・国と民間団体が一体となり、中高年世代の方々の安定就労の実現を支援する。
- 具体的には、
  - ・ 労働局、地方自治体、労働・経済の地元団体、訓練機関等支援機関をメンバーとする協議会が、人手不足分野や地元企業への就職の推進等、地域の実情・課題も踏まえた支援施策の方向性を取りまとめ、その具体化と事業の実施を民間企業に委託する。
  - ・ 委託を受けた民間企業は、民間企業ならではのノウハウを活かして、支援事業のメニューを作成し展開する。
  - ・ また、この取組みの成果を高めるため、社会参加から就職後の職場定着までの多岐にわたる支援施策を、ワンストップで本人や家族に届けるための広報事業を国が実施する。

## 2 事業の概要・スキーム、実施主体等

